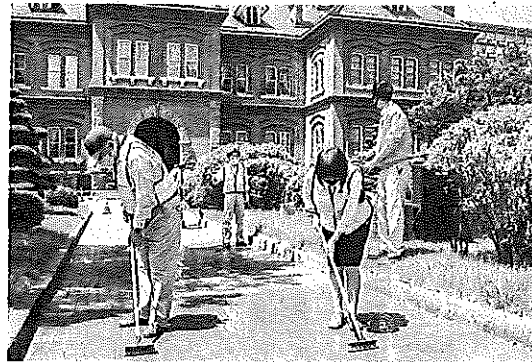


「札幌建協の日」に清掃

札幌建協が赤れんが庁舎前で



札幌建設業協会は、5月30日の「札幌建協の日」にちなんで清掃や交通安全啓発を展開している。1日には事務局職員が道庁赤れんが庁舎前庭の

アプローチ部分にたまったごみや砂利を取り除き、きれいな状態に戻した。同建協では5月30日を「札幌建協の日」と位置付

事務局職員がアプローチ部分をモップがけした

け、毎年、道庁赤れんが庁舎前庭の清掃や北海道建設会館前での交通安全啓発に取り組んでいる。ことしは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各会員企業がそれぞれの事務所や現場周辺で活動することとし、道庁赤れんが庁舎前の清掃は事務局が担当した。

活動には村井悟専務理事ら7人が参加。協会の創立100周年を記念して小学生が文字や絵を刻んだれんがをモップがけし、溝にたまった砂利やごみを洗い流した。

遊歩道のゴミ拾いに汗

札幌建協 道庁赤れんが前を清掃



水とブラシで汚れを落とした

札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は1日、道庁赤れんが庁舎の前庭で清掃活動を実施した。村井悟専務理事ら事務局職員7人が参加し、赤れんがを敷設した遊歩道のゴミを拾い汗を流した。

協会は、4年前に開催した協会設立100周年記念式典で、創立の日の5月30日を札幌建協の日と制定。協会が定めた3つの心と5つの行動の行動宣言2016を実践していくため、協会事業として札幌市街地の清掃活動を行っている。ことしは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員企業は分散して各事業所の周辺で清掃活動を実施。道庁赤れんが

庁舎の前庭の清掃活動は、規模を縮小して7人が担当し、協会創立記念事業で前庭に敷設したれんが舗装部の落ち葉やゴミを拾い集めたほか、れんがの間等に溜まった埃や土を、水とブラシを使ってきれいに洗い落とした。